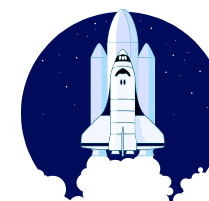


御中

特許庁登録の知財「アトラクション型ワークショップ」(権利者:戸村智憲(担当講師))を活用した自ら考え言われなくても進んで快く動く自律性の習慣を徹底する、一見して楽しい状況設定で内面を見つめ直し限界を超える厳しい訓練でスキルを磨きあげる「ソフトな鍛錬」の研修です



階層別 社員活性化研修 (若手向け)



The Space Training Camp for Basic[®]戸村

研修パッケージご案内・ご提案書

日本マネジメント総合研究所合同会社 (JMRI, LLC.)
プログラム開発・総合監修・担当: 理事長 戸村智憲
〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル5階
電話: 03-6894-7674 FAX: 03-6800-3090
メール: info@jmri.co.jp ウェブ: <http://www.jmri.co.jp/>



はじめに：ご提案にあたって

【よくある社員の自己変革研修・活性化研修の3パターンとそれぞれの弊害】

◆精神論での根性注入型の研修

→メリット： 心理的に追い詰め限界を超える体験をすることに一定の意義はあり得る

→デメリット： ソーシャルメディアで研修中の画像・動画の不適切投稿で一気に「ブラック企業」の悪評も…

◆定番的な無難な型どおりの研修

→メリット： 他の講師でも担当できる人材量産型の研修で、従来の枠内で理解可能な定型的指導で無難

→デメリット： 激変する経営環境に適応し社会をリードしてきている有力講師でもなんでもないような講師が型どおりの指導内容と多少は情熱的に見える指導力で、型にはまった人材しか生み出せない言われたことを言われた通りにできる人材の量産で、経営陣の「この難局を打破できるような枠にとらわれない人材はいないのか？」と問われて人事部門が困る研修になりがち)

◆受講者に迎合するようなウケだけの楽しいチャラチャラした研修

→メリット： 受講者ウケだけは良くて参加意欲は高まって、楽しく過ごせて親睦は深まる

→デメリット： 経営陣の意向に沿った活力があり打たれ強いレジリエンスある自律的な人材育成に難あり
(研修というより、アウトドアやスポーツなどを通じた親睦会などや緩い研修だけでは、経営の厳しさに耐えて乗り越えられる人材育成に至りにくい「仲良し会」どまりのリスクあり)

【原理原則の「型」を知った上で、激変する経営環境で適応力・打たれ強さをもって自律的に考え動く人材へ】

◆「アトラクション型ワークショップ」による“The Space Training Camp”®をお薦めする理由

→上記3パターンのような、各メリットを採り入れつつ、「ブラック企業」の風評被害を避け参画意欲も高め楽しく学びつつ、ぬるま湯気分からビジネスの厳しさを実感する「ソフトな鍛錬」で、鉄を熱して何度も打ち直し「自ら何が問題かを見出しその問題に自ら答えを見出せる」自律的で主体的な人材育成を行います。

The Space Training Camp® の研修の特徴・目的・ねらい

■元 経営行動科学学会理事・兼・研究部会長で公認不正検査士(CFE)の戸村が編み出した集大成

【マネジメント論の学術面での論客であり実践者】

マネジメント系の学会で教授・院生などに対するワークショップや研究活動を統括してきた者として、いかにモチベーション・チームワーク・リーダーシップなどを高めるかを追求してきた知見をフルに生かした研修プログラム設計と「日本の人気講師ランキング3位」(日経産業新聞しらべ)の定評ある指導力の講師による他にない研修

【「負の人材」を「プラスの人財」に更生させてきた変革請負人】

弁護士や監査法人の会計士をはじめ、大手コンサル会社コンサルタントや人材研修会社の講師といった専門家を指導する講師として、また、公認不正検査士(CFE)として企業の不正行為者の不正を見抜き「負の人材」を改俊させ「プラスの人財」に更生させる厳しくも懐深い指導をしてきた経験を基に、認知行動療法的な要素を盛り込みつつ、受講者ひとりひとりの内面を見ずえる厳しい目と良い個性を多様に活かす温かい姿勢ある研修

【厳しく内面をえぐり出し自己変革を強力に進める際の「エグさ」をソフトに緩和して楽しく受け止める仕組み】

最近の若手・中堅・ベテランそれぞれの社員さんが強力的な自己変革に迫られる際に感じる「エグさ」を緩和し、参画意欲や研修中の楽しさを感じて頂きながら自らの内面を見つめ直し納得感と具体的な対応法を学び取って頂くための仕組みとして、「アトラクション型」の状況設定によるワークショップで、原理原則を学びつつ自分の個性の良さを活かして応用力・適応力・レジリエンスを内在化して自分の殻を破る「ソフトな鍛錬」のイメージを浸透させる工夫で仕上げた研修

→受講者さまが「宇宙飛行士トレーニング生」となり、講師扮する「宇宙飛行トレーナー」「管制塔指令官」「宇宙飛行で訪れる先にいる異星人」(自分と異なる人:よくいる上司像・取引先相手像をモチーフ)から示される「宇宙飛行ミッション」を、わかるまでできるまで繰り返してトレーニングしながらクリアしていく過程を通じ、同じ「宇宙飛行ミッションのクルー(乗組員)」である仲間との深い協調性と自己と会社・社会で求められるギャップの理解を促進しつつ、ワンランク上のマナーや礼儀・チームワーク・会社組織における「ミッション」(社是・経営理念の浸透と日々の仕事)の工夫・ミッションクリアのために必要なコミュニケーション力や自社の深い理解と愛着に加え、自ら行動し考えて取り組んではじめてクリアできるミッションに取り組む研修です。

3つのプログラムをレベルに応じてご用意

- **若手層**（内定者・新入社員・若手社員）向けの
The Space Training Camp for <BASIC>
 - 基本を知り能動的・自律的な人材に育てる
 - 型を知り応用能力を高め個性を発揮する人材へ
 - **中堅層**（自社の当たり前前に染まった方やぬるま湯体質な）向けの
The Space Training Camp for <ADVANCE>
 - 今まで通りで良いという甘えをたたき直す
 - ダイバーシティ経営や経営変革の推進者を養成
 - **ベテラン管理職や定年再雇用などシニア人材向けの**
The Space Training Camp for <SENIOR>
 - プライドをかなぐり捨てて自己を見つめ直す鍛錬
 - 自分より若い上司に仕えるケースなども想定し
世代間で異なる価値観・自らの多様化を促進
- ★ご多忙の場合は1日間または1.5日間の速習コース設定も柔軟に対応可能ですので、適宜、ご相談下さいませ。

The Space Training Camp for BASIC 若手向け(内定者・新入社員・若手層)

タイムスケジュール案 (1日目) 開始・終了時間はご要望にて調整

9:00-

トレーニング・キャンプ集合 (御社指定会場に集合)

(特別な設備や会場設営は不要です：画像・映像・小道具等で宇宙飛行士トレーニングの場のような演出を工夫致します)

◆オリエンテーション

ミッションクリア (研修での繰り返し鍛錬テスト) に挑む際の楽しむ・自分で考える習慣・自分で動いていく習慣などの説明

ウォーミングアップ： 自己分析と他者評価による各自の宇宙飛行ミッション(研修中)におけるコードネームづくりワーク

①管制塔からのミッション・レクチャー

◆グローバルな「宇宙人」(社会人・多様性ある社会の一員)としての関わり方、ミッション遂行のための「宇宙人」としての基本理解を促進する双方向での講義

②「宇宙食」(昼食) ミッション

◆昼食という場や時間も無駄にしないさりげない指導

「宇宙人」(自社の先輩や上司など)といっしょにランチをとる際の作法や気遣いや5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)についてランチの場を通じて和気藹々と食べながら学んでいく

③スペース・ミッション

◆水星への宇宙飛行

水星人との遭遇：「地球」(自社)を代表する宇宙飛行士として、水星人との友好条約締結というミッションをクリアせよ！

→マナーの基本と応用・コミュニケーションスキル向上

→水星人を快くさせて同期・同僚・上司に適切な対応

→**スペース・クライシス発生：サプライズ・トレーニング**

もしこの場で隕石衝突(地震)が起きたらどうする？

(研修中にサプライズで問いかけ・防災/危機管理の理解促進)

④管制塔からのミッション・レクチャー

◆グローバルな「宇宙人」としての「宇宙法」(コンプライアンス)に沿った対応、SNS利活用における不適切投稿についての注意喚起や講師が提唱し指導する「ソーシャルメディア・コンプライアンス」による双方向での講義

DAY 1 終了 一旦解散にて自由に宇宙遊泳(解散・自由行動)

<宿題> 「地球」の存在意義(社是・経営理念)や活動・事業内容や社会貢献活動など自社について自ら調べたり質問したりして書き出す宿題をやってきてもらう

18:00-

★御社社員さまなどをアシスタント(宇宙飛行ナビゲーター)として配置して頂ける際は、受講生から質問や依頼があるまでは一切指導や介入をしないでいただき、質問の仕方やタイミング・依頼の仕方や礼儀などが悪い場合は、どんな風に質問されたり依頼されたら嬉しいかという点となぜ今の質問の仕方や依頼の仕方が良くないかをお話して頂き、改めてグループ内で質問・依頼の仕方考え直してから質問・依頼に来るようにして差し上げて下さい。

★オリエンテーションにて、ミッションクリアに挑むための研修中のルールやグループワークでの決まり(相手の意見を頭ごなしに否定しない、楽しんで取り組む、自分から質問・依頼する習慣をつけることなど)をお話し致します。

★ミッション・レクチャー(講義)において、御社でお悩みの点をクリアできるよう、インプットも行います。ご要望に応じ内容を調整可能でございます。社会人としてのマナー・文書作成の作法・質問や依頼の際の礼儀や、どんな姿勢で接する必要があるか、どんなことに留意して仕事をする必要があるか、受け身でなく積極的に自らできる仕事がないか聞きに行く姿勢や、先輩・上司などは新入社員さんのどんな言動をどう見ているのかなどについてお話し致します。

★「宇宙食」(昼食)ミッションでは、「仕事」「社内の人とのかかわり」は、単に勤務中だけでなく食事の場や喫煙場所などでもかかわりあいがあるため、社内での1日をモチーフにしつつ宇宙飛行中の礼儀作法や先輩や上司に好感をもたれる立ち居振る舞いや、先輩・上司などの本音としてどう接してほしいかなどについてもお話し致します。

★水星ミッションの「あいさつ」は、お辞儀の角度や姿勢の基本を踏まえつつも、ミッションクリアに必要な条件設定として、講師扮する水星人(よくある上司をモチーフ)が「心地よいと思える」ことに設定していますので、型どおり機会的に対応するだけではなく、自分なりにあいさつひとつから工夫して相手にどう接すれば心地よいと思ってもらえるかを、自ら考え工夫し行動に移して頂けるまで合格(ミッションクリア)を出しません。

The Space Training Camp for BASIC 若手向け(内定者・新入社員・若手層)

タイムスケジュール案(2日目) 開始・終了時間はご要望にて調整

9:00-

トレーニング・キャンプ集合(御社指定会場に集合)

- ◆前日のクリアまたはグループによりクリアできなかったミッションの振り返りと復習トレーニング

⑤スペース・ミッション

◆金星への宇宙飛行

金星人との遭遇：地球人(御社で働く社会人としての自己)のあなたの幸せってなに？

講師開発のバランス・スコアカードを援用し簡易化した論理的思考ツール「幸せマップ」(©戸村)づくりを通じたワークにおいて、従業員満足から「従業員幸福」に至るための自己変革・明日から取り組む自己課題の明確化などを促進するワーク

⑥「宇宙食」(昼食) ミッション

- ◆相手企業担当者(講師)と同席でのランチや会食などの留意点とワンランク上のマナーや、好感を与えるちょっとした気遣いや作法についても食事をとりながらさらっと学んで頂きます

⑦スペース・ミッション

◆火星への宇宙飛行

火星人との遭遇：「地球」(自社)の良さを見直そう！グループワークを通じて、「地球」の素晴らしさと自分たちの考える社是・経営理念とそれらの具体策などをまとめる、グループでのディスカッション方法(KJ法など)やプレゼン基本スキル・リーダーシップの育成

模造紙・ポストイット・ペンを利用し、いかに自分の考えをまとめつつ、相手にわかりやすく図解や説明を交えて伝えるかについて学ぶワーク

⑧スペース・ミッション

- ◆火星人に地球の良さを伝え、火星から地球人に宇宙金貨を「投資」してもらうために、地球の存在が宇宙社会にどう貢献するかを、相手にわかりやすく具体的に伝える、社会貢献の意識を持つ、自社を理解し見つけ直すきっかけを持つ、プレゼンの応用スキルなど総合力をもって最終ミッションクリアに挑むワーク

地球への帰還と管制塔からの講評：

The Space Mission Certificate(修了証)授与、半年後の自分への手紙(受講半年後に御社内部にて受講者様にお渡し頂くもの)回収、講師講評をもって終了

18:00-

★前日のことはもう過ぎたことではなく、2日目は前日できるまでトレーニングしたことが2日目に取り組みことと併せてできていなければ不合格として、何度もできるまでソフトに鍛錬します。

★金星ミッションでは、初心者や新入社員さんでもわかりやすい例題をこなしたうえで、オリジナル開発の「幸せマップ」作成ワークと講師扮する金星人(よくある上司像をモチーフ)に、何が会社で働く自分たちとして求めるべき幸せなのか、また、その幸せに至るために具体的に身近に明日から取り組むべきものは何かについて考え、納得できるわかりやすく要点がまとめられた説明を金星人に対してできるまで合格を出さず何度も考え直し工夫直してミッションクリアにトライして頂きます。2日間を通じてミッションは、グループごとの勝ち抜け方式としており、ミッションクリアして合格したグループは、他のグループの支援やアドバイスをする側に回り、グループ間での勝ち抜け競争意識と同時に、勝ち抜けたグループはサポート役をすることで協調性や新入社員間でのリーダーシップ要素を促進します。

★2日目の宇宙食(昼食)ミッションは、取引先や社外の方が同席の場合の席次やマナーをはじめ、先輩や上司や社外の方への気遣いと、社外の方が新入社員さんのどんな言動をどう見てどう反応するかについての胸の内についてもお話し致します。

★火星ミッションでは、1日目終了後の宿題をベースに、自社について知り惚れ直して愛着を持っていただきつつ、自分たちがどう仕事に取組みどんな自社の事業を推進することでどう社会に役立つのかについて、土星人(よくあるステークホルダー像をモチーフ)に対して、自分たちなりに考え、考えをまとめ、まったく自社や自分たちについて知らない相手に対してわかりやすく納得できるよう説明できる簡易プレゼン資料作成を行って頂きます。その上で、火星人に対してグループごとにプレゼンをして頂き、1日目からやってきたことが、単にぶつ切りのテーマごとの研修内容を聞いただけではなく、それぞれのテーマ・課題について学んでいただいたことが実際にマナー等を含め実践できるまで合格を出しません。他のミッション同様に、グループ勝ち抜け式で勝ち抜けたグループは合格できていないグループの支援に回り、指導する側と指導される側の両面を体験して頂きます。

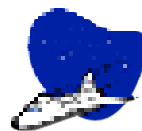
スライドのサンプルイメージ①



ウォーミングアップ：コードネーム作成
12:00まで

就職活動で既に習得してきた自己分析から、自分はこんな人間だということを仲間に知ってもらいましょう。

- ①簡単な自己分析(個人ワーク) 10分間程度
- ②インストラクターに自己紹介してみましょう。各自3分間で、プレゼン前に出てインストラクターと他の宇宙飛行士に「私はこんな人」「私はこんなことをしたい」など、3分間の自己プレゼンをしましょう。事前ワークに沿って質問するかも。他の宇宙飛行士が「あなた」を理解しやすいよう、また、あなた自身の強みや弱みなどを、アピールしたいことだけでなく、宇宙飛行でサポートしてほしいことや悩みや課題など、自己開示できるようにしてみましょう。

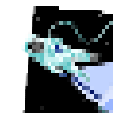


宇宙食(ランチ)と宇宙での異星人との会食
マナーの示し方
12:00~13:00

宇宙食(ランチ)の時間です。宇宙社会では漫然とランチを食べれば良いだけではないかも…

★これから旅立つ星々で、異星人に失礼のないよう、宇宙会食のマナーを身に付けておきましょう

- ①ランチの時間になったら、あなたは宇宙実験棟(職場)でどう行動しますか?
- ②何に気を付けておく必要があると思いますか?
- ③実際に宇宙会食の場で、どんなマナーに気を付ける必要があるかについて、宇宙会食しながらインストラクターとやりとりしましょう。



- ③宇宙飛行士同士でお互いに、仲間の「コードネーム」を作成し、名札に書いて2日間のスペース・ミッションのコードネームとします。

Sample Sample Sample



管制塔からのミッション・レクチャー①
13:00~14:00

宇宙という広い社会で望まれる新入社員さんの言動や姿勢はどんなことがあるのでしょうか?

- 身近なところにある事に「なぜ?」「どうして?」を繰り返して5回問う
- 「常識」と思っている事を疑ってみる事から新しい「常識」が生まれる
- 当たり前、恒例だからやる事、何気なく受け入れている事に疑問の目を向ける事から新しい「ビジネス」が生まれる
- 過去に学んで、そこからあなたのオリジナルなやり方を見出す
- 破壊的な批判ではなく、建設的批判を協調性をもって行う

→ 疑問点を質問する際、スペースで指図はよく聞かれます。目線や顔で意思が伝わらなければ伝わりません。



管制塔からのミッション・レクチャー①
13:00~14:00

宇宙という広い社会で望まれる新入社員さんの言動や姿勢はどんなことがあるのでしょうか?

- 最も基本的なこと、「報告」「連絡」「相談」(ホウ・レン・ソウ)

「報告」は、自分が行ったこと、進捗、発生した問題、必要なサポートを伝えること。チームで働く上では、進捗や発生した問題を、定期的に行う報告が不可欠です。また、発生した問題を、報告することで、チーム全体の状況が把握でき、必要なサポートが提供されます。

- 自分にとって「恥」と思える事、「失敗した事」、隠しておきたい事を積極的に「ホウ・レン・ソウ」する

「恥」と思える事、失敗した事、隠しておきたい事を積極的に「ホウ・レン・ソウ」することは、チーム全体の状況が把握でき、必要なサポートが提供されます。また、発生した問題を、報告することで、チーム全体の状況が把握でき、必要なサポートが提供されます。

スライドのサンプルイメージ②



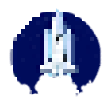
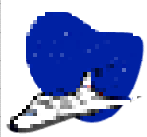
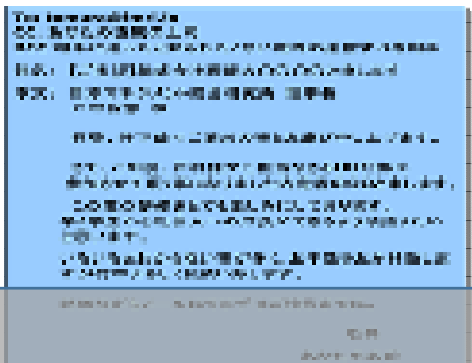
管制塔からのミッション・レクチャー①

13:00~14:00

宇宙という広い社会で望まれる新入社員さんの言動や姿勢はどんなことがあるのでしょうか？

「ミッション・レクチャー」

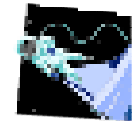
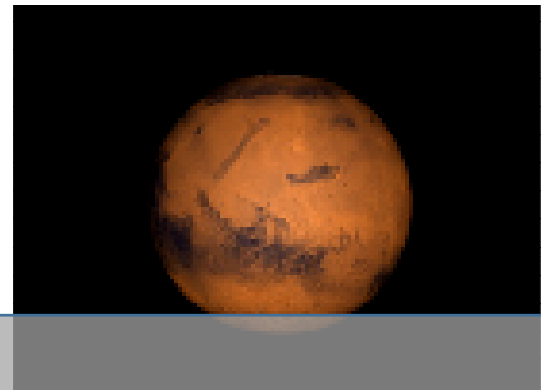
- 中間的な書き方例
⇒既に会っている相手
→親近感を出したい
などなど
- 口上の人には、道押
のような副文をつけ
ない。
- 講師や大学教授や
目上関係のセミナー
講演には「様」ではなく
「先主」としておく



スペース・ミッション② 火星への飛行

14:10~16:40

さあ、準備はいいですか？
おやっ、火星に到着しました！(ワープしてあっさり到着…)



Sample Sample Sample



スペース・ミッション② 火星への飛行

14:10~16:40

火星入りの友好条約をむすぶため、宇宙飛行士として
地球を代表する礼儀とマナーであいさう＆やりとりしよう！

「管制塔よりスペース・ミッション 宇宙飛行士へ
ただいまより、火星人のプロフィール・データを送信する。
地球を代表して友好関係を築いて、友好条約を結ぶための
関係を良くしておきましょう。以上。」

- ・「管制塔から送られてきた火星人のプロフィール・データ」
- ・「マナー」の勉強が思いのほか難しい……一歩ずつ進んでいく
- ・「火星をコロコロと探検する」には大分熱い行動がある
- ・「火星画」の火星人は「本職」が「飛行士」
- ・「火星人も探検隊員」の合意は「探検隊員」
- ・「探検隊員」が「火星」に到着したら「火星」に到着する



スペース・ハブロジグ 火星での隕石衝突

大也震発生…あなたはどうする？どう備える？

火星入りの友好関係を結ぼうとしていたら、突然の揺れが…
あなたはこの場で何をどうする？普段からそなえている？



「火星画」の「探検隊員」は「探検隊員」
に「探検」の「探検」の「探検」の「探検」
の「探検」の「探検」の「探検」の「探検」
の「探検」の「探検」の「探検」の「探検」

スライドのサンプルイメージ③

スペース・ミッション④ 木星への飛行
09:00~12:00

木星人に宇宙飛行士としてあいさつ&やりとりしてみよう！
幸せを求める木星人に、あなたの幸せを語ろう！

管制塔よりスペース・ミッション宇宙飛行士へ
ただいまより、木星人のプロフィールデータを送信する。
地球を代表して友好関係を築いて、友好条約を結ぶための
関係を良くしておくよう求める。以上。」

- 【管制塔から送られてきた木星人のプロフィールデータ】
- ・基本的にやさしい-自分の幸せを願う人に友好的
 - ・不幸せなことは大嫌い-願望されるかも...
 - ・相手の幸せについて詳しく聞かなくてはならない
 - ・木星人以外の他人との友好条約の構築を望んでいる
 - ・心身の健康維持がすべてを占めていて...

「アット、アット、アット
アットアットアットアット
アットアットアットアット...

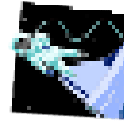
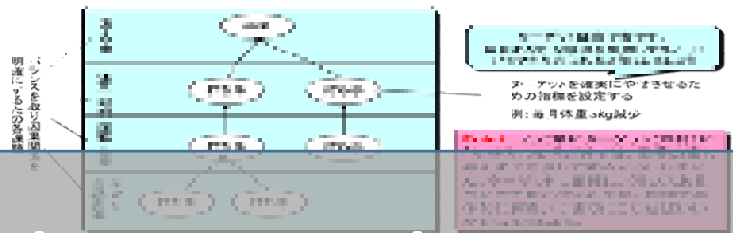


スペース・ミッション④ 木星への飛行
09:00~12:00

木星人との友好条約をむすぶため、宇宙飛行士として
木星人フォーマットであなたの幸せを相手に伝えよう

Missionに用いるプランのフォーマット

- MISSION進行にあたり、内容が俯瞰できる下記のフォーマット例を参考に用いてみましょう。
- 「モチベーションを上げる」といっても、健康を害するようなやせ方は不可。バランスよくやる事を意識し、ターゲットである戸村が体重を減らし、MISSIONを完遂できるプランを立てて下さい。× それぞれの課題内の因果関係ある打ち手について指図を徹底してきましょう。

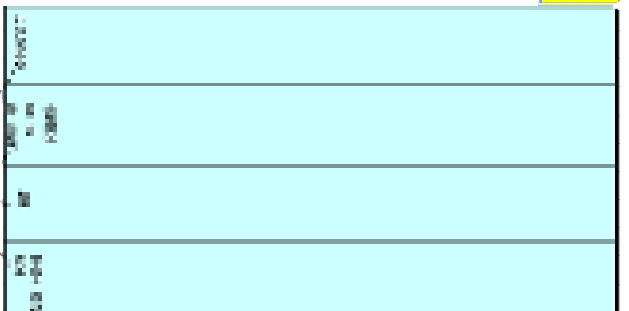
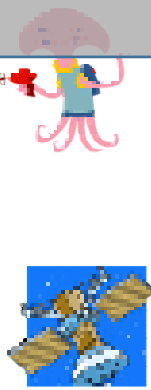


Sample Sample Sample

スペース・ミッション④ 木星への飛行
09:00~12:00

木星人との友好条約をむすぶため、宇宙飛行士として
木星人フォーマットであなたの幸せを相手に伝えよう

木星人フォーマット 幸せマップづくり



スペース・ミッション⑤ 七星への飛行
13:00~16:00

七星人に宇宙飛行士としてあいさつ&やりとりしてみよう！
セレブ惑星の土星人に、地球(わが社)に投資してもらおう

地球の 魅力など	火星の 魅力など	金星の 魅力など	木星の 魅力など
土星の 魅力など	地球の 魅力など	地球の 魅力など	地球の 魅力など
木星の 魅力など	火星の 魅力など	金星の 魅力など	木星の 魅力など
土星の 魅力など	地球の 魅力など	地球の 魅力など	地球の 魅力など

「思ったこと-感じたこと-聞いたこと-見たこと-調べたことなど、いろんなアイデアや感想をイラストに書き出して貼っていきこう

似たようなものがあれば、重ねて貼ってグルーピングする

「ストーリーマップ」という手法とKJ法の初歩的なものを体験してみましょう！

トレーニング修了証のサンプルイメージ



無事に全日程をフルにご参加頂き、一定の成果をあげて頂いた方には、みなさまにコースご修了のあかしとして、トレーニング修了証を開発・監修・担当の戸村のサインおよび弊社の社印入りで贈呈致します。

研修後に「宇宙ポスト」に「投函」頂く「未来の自分にあてた宇宙手紙」とともに、研修後に頑張って自分の殻や限界を超えて頂いた思いを、修了証や宇宙レターを見るたびに思い出して頂けるようにしております。

事前に受講者さまのフルネーム（漢字とローマ字表記両方）をお知らせ頂けましたら、個人名と御社名入りの世界でひとつだけの修了証を作成させていただきます。（ケースに応じまして、発行・贈呈なしの場合もあり得ますので、詳しくはお問い合わせ下さいませ）

よくあるご質問と回答

【その1: テキストについて】

ビジネスパーソン必須の知識や基本・型を知って頂く上で、「宇宙飛行センター管制塔からのミッション・レクチャー」として、主催者さまのご要望を踏まえた上でインプットして頂くスライドをご用意致しますので、そのスライド部分に関しまして、テキストとして配布させて頂く予定でございます。

なお、メモを取ることに時間が割かれないう、なるべくお話しさせて頂く内容をご理解頂き応用が効くように、スライドは詳細な記載となりますので、おそらく、他の研修会社さまがご用意になるようなありきたりのテキストより内容は濃いスライドを配布資料テキストとしてお届けさせて頂く形になろうかと思われれます。

【その2: 後日程の研修との兼ね合いについて】

後日程をご担当の講師の方に色々とお願ひするのは申し訳なく、また、「型どおり」というより、「強制的に型にはめる、教育(エデュケーション)というより洗脳・教化(インドクトリネーション)」が問題ではございますが、2日間フルに小職にて担当させて頂く中で、型を知り自分の個性に応じて応用していける力を養わせて頂きますので、「型どおり」のことをなさっても、応用編的なお話であっても、その意図や意義を見抜く素養をつけさせて頂けるようにして参ります。洗脳・教化でなければ、「型どおり」の指導の中にある物事のセオリーや型については、それぞれの講師の方がそれぞれにご指導頂いて全く問題ございません。

【その3: ミッション・クリアについて】

よくあるご質問でございます。

ミッションは取り組む過程で、各階層の社員さま・管理職等としての一定の合格レベルに達しているとしても、安易に合格を出さず、もう一工夫やもう一歩レベルアップ・ランクアップして頂くよう、あえて何度か突き返し鍛錬を積んで頂きます。もちろん、よくできた方は合格とさせて頂き、達成感を味わって頂きつつ、他のミッション・クリアに至っていないグループのサポート・応援に回って頂きます。

ここで、各階層での通常レベルの合格点をもって合格(ミッション・クリア)することが最終目的というよりも、ミッションをクリアしようと何度か自分で考え、自分たちで動き、創意工夫を重ねるのがミッション・クリアより重要なプロセスとして設定しております。

そのため、あえて合格(ミッション・クリア)としないで、くやしさを次のミッションや本番としての職場における仕事ではもっと集中して工夫をこらして頑張ろうという内発的な動機付けと自律的な心理を養成して参りますので、クリアされなかったグループの方々がいらっしゃる方が、安易に物事はなんでもクリアできるもの、という思いを植え付けてしまうより、研修効果は高まります。

もちろん、ミッション・クリアのハードルを受講者様の状況・心理に合わせて調整致しますし、クリアされなかった方々も、他の講師の方による研修やチェックテストでは「合格」「太鼓判」を押されるころまでは鍛錬致しますので、クリアするかどうかより、その過程を重視していることとお話し頂ければ幸いです。

【その他: 事前課題みたいなもの】

文書作成やメールでのやりとりの基本を知って頂くために、可能でしたら事前に講師にメール(メルアドなど個人情報の関連で問題があれば、主催者事務局さまにて回収・まとめて小職に送付でも形式は問いません)で、研修にあたってのご挨拶メール文面を送って頂いたりしております。

ミッション・レクチャー(講義部分)で、実際に書く社員さま・管理職の方々などがお書きになった文面(差し障りのある箇所は伏字などの対処を致します)をいくつかスライドにてご紹介し、添削というかメールを送る側の感覚と受け取る側の感覚について、ギャップや改善文例などをご紹介・指導させて頂いたりすることも多いです。

文書作成の型を知って頂くにも、延々と講師側の用意したひな形・テキストだけで進めるより、実際にご自分で書かれた文面を、どんな観点でどう見られ、どう改めるべきかという指導にて、生きたテキスト化していく方が、より身につまされ身近なものとしてご理解頂きやすいようです。

開発・監修者・担当講師プロフィール：戸村 智憲（Tomonori Tomura）

日本マネジメント総合研究所LLC 理事長 コーポレート・ガバナンス・アワード 主宰
 公認不正検査士（CFE）、MBA（経営管理学修士号）、ビッグデータ・ストラテジスト、
 ICGN(International Corporate Governance Network)会員、日本取締役協会 会員、
 大手企業役員OB組織（一社）ディレクトフォース会員（最年少）、米国心臓学会認定 救命救急
 資格者（AHA BLS HCP）、上級救命技能認定（消防庁）、米国連邦航空局自家用飛行機パイロット、
 第一級小型船舶操縦士、第三種放射線取扱主任者： 国家資格（文科省 原子力規制委員会）、
 海上/陸上/航空特殊無線技士、防災士など



日本の人気講師ランキング3位にランクイン（注）した、**一見して難しいことをやわらかく楽しく解説し、一見して簡単に見過ごしがちな物事の奥深さに切り込む講演・指導が各地で人気の講師**です。（注：日経産業新聞「啓発に効く講演会選び」）
 激変する経営環境に適応するためのオリジナルで新たな対策・経営手法をはじめ、スタンダードなテーマについても新たな切り口や学際的なアプローチの観点から、**「知恵づくり職人」**（@戸村）として新たな気づきをお届けしています。
 経営顧問/アドバイザー、講演/研修（年間120講演程度）、執筆（28冊以上）の3つの柱で、上場最大手の民間企業で役員研修から新入社員研修や内定者研修をはじめインターンシップ生の指導など・官公庁・自治体・医療福祉機関・IT団体・労組・商工会議所など、全国各地で各種テーマを展開し、多くのリピートご依頼を頂いております。TV出演やTV番組の監修をはじめ、雑誌連載、大規模パネルディスカッション登壇など精力的に活動中。

早稲田大学卒業。米国MBA（経営管理学修士号）修了。全米トップ0.5%のみに人物評価・成績評価等により授与される**全米優秀大学院生を受賞**。米国博士後期課程(Ph.D)中退。**国連勤務**にて、国連内部監査業務の専門官、国連戦略立案業務専門官リーダー、**国連職員研修特命講師**、国連主導の世界的CSR運動である「国連グローバルコンパクト（UNGC）」広報・企業誘致業務などを担当。国際的な職場にて、自ら、ダイバーシティや**グローバル人材育成**・コンプライアンス・リスク管理/危機管理・監査指導・経営倫理・人権指導・倫理指導などに当たりつつ自らも実践する。民間企業にて、企業役員として人事総務統括や監査統括、**岡山大学大学院非常勤講師**、経営行動科学学会理事・兼・東日本研究部会長、日本経営協会総合研究所（NOMA総研）顧問、IT企業の（株）アシスト顧問（代表：ビル・トッテン）、上場IT企業のJFEシステムズ（株）アドバイザー、JA長野中央会顧問、三菱商事子会社の人材派遣/紹介企業（株）メイツのエグゼクティブアドバイザー、**サミット会場となったホテルでの支配人**としての指導（国際的なマナー・礼儀作法・ホテル運営・セールスの仕組み作りなどに携わる）、震災復興支援フォーラムin東京の主宰などを歴任。指導先は上場最大手企業から中堅中小企業・電力企業・インフラ企業や、官公庁・地方自治体（倫理研修・人権研修・公開講座基調講演など）をはじめ、商工会議所・業界団体・フォーラムやイベントの基調講演、医療福祉機関、看護協会（師長向けセカンドレベルコース）、労働組合、農協、青年会議所など幅広い業種業態において登壇。著書28冊。わかりやすい自己啓発本として『ワンランクアップするための戦略脳の作り方』（明日香出版）から学術専門書『企業統治の退廃と甦生』（中央経済社）など堅い高度な書籍まで幅広い執筆活動。**NHK「クローズアップ現代」TV出演**・NHK(Eテレ)「めざせ！会社の星」専門家ゲストTV出演・BS11報道番組「インサイドアウト」でのコメンテーターTV出演や、**池上彰氏のわかりやすい番組を指導する監修者**としてテレビ朝日「そうだったのか！池上彰の学べるニュース」番組監修者として同氏の解説コメント指導やプロデューサーやディレクターへの指導などテレビを作る側としても活躍。

研修費用等について

- ◆ 弊社に直接ご依頼の場合と、研修会社さま・講師派遣会社さまなどを介してご依頼頂く場合によって、それぞれ会場を借りて開催や自社会議室などを利用しての開催の場合やその他もろもろの状況に応じて費用や手続き等が異なるケースがあり得るかと思われまますので、主催社さま、各研修会社さま・講師派遣会社さまなど、ご担当の方からご予算やご事情・お悩み・現在の課題などにつきまして、弊社またはお取扱いご担当者さまにお問い合わせ下さいませ。
- ◆ **弊社にてワンストップで会場手配・テキスト類の印刷等手配・使用機材の手配・その他の対応も可能でございます。**
- ◆ **BASICコース、ADVANCEコース、SENIORコースの単体でもセットでもいずれでも対応可能でございます**ので、御社にてご入り用のコースをご検討頂ければ幸いです。
- ◆ 各主催者さまにおかれましても、また、各研修会社さま・講師派遣会社さまにおかれましても、ボリュームディスカウントやリピート割引などにてご依頼頂ける案件数などに応じまして、よりリーズナブルな費用にてご提供させて頂くことも可能でございますので、弊社またはお取扱いのご担当者までお問い合わせ下さいませ。
- ◆ 複数社さま合同での開催や公開型の研修対応なども、状況に応じまして柔軟に対応させて頂けるかと思われまますので、ご要望の際は事前に弊社またはお取扱い担当者さまにお問い合わせ下さいませ。

お問い合わせ先

- ◆ 本研修パッケージ各研修会社さま・講師派遣会社さまの各営業ご担当者さま宛て、弊社への直接ご依頼は弊社「The Space Training Camp担当窓口」宛てにてお問い合わせ下さいませ。